

医療情報部・システム管理課

平成29年度は、医療情報部の更なる組織力強化を図るべく組織を再編し、さまざまな課題に対する解決策を検討や対応を実施した。電子カルテに対しては、①適正な保険医療を維持向上するために、ログイン機能、指導料ガイダンス機能の改修を実施し、②職員の利便性向上の目的として、サーバストレージのフラッシュ化によるレスポンス改善対策や排他制御を患者単位からオーダ単位にすることで患者ロックの緩和対策を行った。さらには③標準的で効率的な入院期間の推進の目的では、病床マップでDPC入院期間の表示を実現した。

電子カルテ以外においては、④昨今のランサムウェア被害に配慮してウィンドウズアップデートサーバ(WSUS)の導入を行った。⑤部門系システムでは、画像ファイリングを主機能とする内視鏡システム、生理検査システム、耳鼻科システム、カルテスキャンシステムの更新があり、その他対応にも注力した。

平成32年1月に予定する電子カルテ更新に向けて、今年度は要件整理やベンダーの比較検討がメインであったが、30年度はベンダーを決定し、具体的な更新作業がはじまる。

※同部門である診療情報室の年報は、別途「医療情報部 診療情報室」を参照

1. 運営部署

医療情報部 システム管理課

2. スタッフ構成(医療情報部)

医療情報部

部長 : 藤川 潤 (29年4月就任) ※臨床検査部主任部長兼任、30年2月CIO就任
副部長 : 猪子 森明 ※循環器内科主任部長兼任

システム管理課

課長代理 : 饗庭 哲也
主任 : 井戸 大輔
係員 : 篠田 佳幸
係員 : 玉井 宏幸
係員 : 平山 洋輔
委託 : システム運用支援(サービスデスク業務) 5名
ツール開発支援・DWH運用保守 1名

計11名

3. 業務内容

- ・病院情報システム環境の維持・運用管理(サービスデスク業務含む)
- ・基幹システム(電子カルテ・医事システム・グループウェア)
- ・各種部門システム(健診、病歴関連、カルテスキャン、リハ部門、DWH、など)
- ・サーバ、PC、プリンター、ネットワーク機器 等
- ・病院情報システムへの改善要望に対する解決策(機能強化、調整など)の検討と実施

- ・次期システムに向けた医療情報化の更なる推進のための企画、提案
- ・情報セキュリティ対策などの情報インフラに必要な不可欠な環境の整備と啓発活動
- ・電子カルテや医事システム等のデータベースを活用、促進
- ・採用時の情報システム操作研修、利用する上での心得、個人情報の取り扱い等の教育
- ・院内ホームページの企画、メンテナンス

4. 参画する委員会、P J、WG

- | | |
|-----------------|----------------|
| ・医療情報委員会(事務局) | 饗庭、井戸、篠田、玉井、平山 |
| ・個人情報管理委員会(事務局) | 井戸、玉井 |
| ・医療機器選定管理委員会 | 饗庭 |
| ・外来当直管理委員会 | 篠田 |
| ・広報委員会 | 平山 |
| ・病歴管理委員会 | 井戸 |
| ・防災対策委員会 | 饗庭 |
| ・与薬指示WG | 饗庭、井戸 |

5. 主なイベント、課題

- ・ 4月
- ・医療情報部の再編(藤川部長就任)
データ管理、SMC業務がデータ管理センターとして独立し、医療情報部は診療情報室とシステム管理課で組織する。
会議再編(情報ステアリングコミッティー、戦略品質部会、電子カルテ部会、運用インフラ部会、部門部会、病歴部会)
- ・部門ヒアリング実施(10月頃まで)
- ・パスワードの対応
ユーザ変更機能解放、文字数拡張、一部部門システムへの連携
- ・心臓センター分科(循内、心外)対応
病名データ移行、各種マスター等のメンテナンス
- ・診察待ち患者さま向けの順番待ち情報の院外HP対応
スマートフォン、フューチャーフォンでHPから同じ情報を参照可能
- ・ネットワーク更新
- ・ 5月
- ・次期電子カルテシステム及び医事システム ベンダー比較検討 開始
- ・総合内科から初期診療科への改称対応
- ・ 6月
- ・生理検査部門システム 稼働(更新)
- ・ 7月
- ・与薬指示の暫定機能を活用した新運用スタート
- ・IBM 電子カルテ デモ開催

- ・ナイス 医事システム デモ開催
- ・耳鼻科システム 稼働(更新)
- ・病床マップのDPC入院期間対応リリース
- ・ツール開発支援の委託会社を変更(NDDへ)

- ・ 8月

- ・富士通 電子カルテ デモ開催
- ・富士通 医事システム デモ開催
- ・電子カルテ サーバストレージのフラッシュ化
- ・カルテスキャンシステム 稼働(更新)
- ・画像統合表示(CITA)の稼働
- ・汎用画像登録機能(CITA)の稼働

- ・ 9月

- ・地域支援病院実地検査 対応
- ・職員持込端末向けに無線環境を充実化
- ・看護モバイル先行事例 見学(京大・神大)
- ・他院CD画像取込システム 見学(JCHO 大阪)
- ・IBM、富士通 電子カルテ更新 一次提案

- ・ 10月

- ・測定器と電子カルテ連携の検討開始(テルモ・フクダコーリン)
- ・ナースコール デモ参加、電子カルテ連携仕様確認
- ・内視鏡部門システム 稼働(更新)

- ・ 11月

- ・代行入力承認機能(同一科医師が可能)および研修医記事確認機能(自身のみフィルタ)の改善

- ・ 12月

- ・ウインドウズアップデートサーバ(WSUS) 運用開始
- ・指導ガイダンスの機能向上の対策実施(リリース)

- ・ 1月

- ・患者ロックの緩和対策 リリース

- ・ 2月

- ・看護勤務管理システムのデモ 開催(SFC新潟、富士通)

- ・ 3月

- ・診療報酬改定 対応
医事、SOFA スコア、看護必要度、ICD10_2013 対応など
- ・仮登録(カルテ記載、IC)機能の廃止対応
- ・IBM、富士通 電子カルテ更新 最終提案

6. サービスデスク業務

インシデント年間推移

システム別推移

システム	2017												2018			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
電子カルテ(CIS)	110	118	126	117	104	90	89	109	100	111	113	154	1,341			
OMC	8	8	5	6	8	6	1	8	3	3	2	2	60			
Comedix	28	15	16	13	11	3	12	16	5	14	13	23	169			
Citrix(仮想インターネット)	27	10	9	6	9	3	3	24	11	8	8	7	125			
OAソフト関連	14	17	20	11	24	21	14	15	22	15	13	20	206			
病院開発ツール	27	7	3	2	15	4	6	5	4	7	3	7	90			
部門系システム	29	37	43	32	39	15	33	24	30	32	23	20	357			
PC	72	103	99	78	100	89	111	107	122	119	103	87	1,190			
プリンタ	64	56	52	43	52	65	44	47	35	43	43	39	583			
ネットワーク	5	8	5	14	5	3	11	6	2	7	8	6	80			
その他	5	5	2	3	8	1	3	1	4	3	1	3	39			
合計	389	384	380	325	375	300	327	362	338	362	330	368	4,240			

医事システム (IBARS) 、電子カルテ (MegaOakHR)は、その他に集計しています。

前年度実績	2016												2017			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	407	343	357	292	334	323	284	311	262	323	216	408	3,860			

要件別推移

受付区分	2017												2018			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
障害コール	205	198	213	192	206	183	207	220	203	224	182	180	2,413			
問い合わせ	176	173	154	121	149	107	110	130	121	121	131	150	1,643			
要求・要請	6	12	10	6	19	9	8	10	11	16	14	38	159			
作業依頼	2			5						1	1		9			
苦情													-			
監視アラーム		1	3	1	1	1	2	2	3		2		16			
合計	389	384	380	325	375	300	327	362	338	362	330	368	4,240			

以上